



# 運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和5年10月号 第219号

(令和5年10月30日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール [tou-asu@netjoy.ne.jp](mailto:tou-asu@netjoy.ne.jp)

## ◆生活学校連絡協議会 施設見学会の実施

10月3日(火)に生活学校連絡協議会施設見学会が実施されました。今まで地球温暖化問題を学習してきましたが、今年度は暮らしの原点に戻り、東京の水道の現状がわかる水の科学館と、昔、夢の島と言われた埋立処分場を見学しました。当日は天気にも恵まれ、21名が参加しました。

先ず、水の科学館では、水の循環メカニズムや多摩川源流の水が様々な人によって守られている現状を見学し、日本では蛇口をひねれば、きれいな水道水が出てきますが、そのありがたさを再確認できました。

1階のエントランスには水遊び道具があるアクアパークがあり、奥には、奥多摩の水道水源林の大切さが理解できるビデオライブラリーのコーナーがありました。



2階のアクア・ラボラトリーでは、浄水場での高度浄水処理の最新技術や水の性質を利用した体験装置がありました。また、地下の配水管を通して家庭等の蛇口まで安全に水を届ける仕組みが展示されていました。

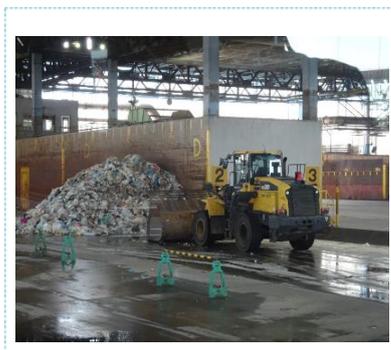


3階の水のたびシアターでは、大画面に投影された映像を見学しました。内容は、雨が森に降るところから始まります。その後、森に降った雨が土に浸み込み、やがて湧き出した水が集まって川をつくり、ダムに流れ込み、水道水のもととなり、浄水場を経て各家庭へ届けられ、使用後は下水となり水再生センターを経て、再び川に流れ、蒸発して雨に戻っていくという過程がダイナミックに放映されていました。



次に、埋立処分場を見学しました。埋立処分場は、23区及び東京二十三区清掃一部事務組合から委託を受けた廃棄物や、都内の中小事業者が排出する産業廃棄物の一部を埋立処分しています。

現在会議室が改装工事のため、バスの中でビデオを観ながら事前の説明を受け、その後、バスに乗りながら埋立処分場を見学しました。最初は、中防不燃ごみ処理センター等を見学しました。



その後、海の森大橋を渡り、中央防波堤外側埋め立て地へ向かい、調整池等を見学しました。



埋立地から出るガスを抜くためのパイプやビニールごみと可燃ごみを分別して収集していた頃の埋立の状況がわかる地層を見学しました。埋立地で唯一バス等から降車できる見晴らし台にも行きました。



昔、都内では、ごみ問題が深刻化し「ごみ戦争」と言われるまで事態は緊迫していましたが、その頃と比べるとはるかにきれいです。しかし、埋立地もこのままいけば50年持たないとも言われています。コロナ禍で環境問題の意識がやや薄れた感じもありますが、マイバックを使いレジ袋を減らす「リデュース」、使わなくなったものを廃棄する前に交換や修理、寄付、買取に出す「リユース」、プラスチックやビン等の資源(またはエネルギー)を再度回収して利用する「リサイクル」を改めて実践しようと実感した見学会でした。

昼食は、品川プリンスメインタワー38階でおいしい日本食をいただきました。皆さま、お疲れ様でした。

